

平成28年度 第1回小牧市児童館運営委員会会議録

日時	平成28年7月21日 木曜日 10時～11時20分	
場所	市役所本庁舎 4階 404会議室	
参加者	運営委員	永井勝彦、丹羽三枝子、宮内真由美、船橋由美、辰川みつゑ、竹谷竹久、沖本喜久江、古澤照美、山下美和
	事務局	小塚部長、舟橋次長、永井課長、松永主幹、清水センター長、野地館長、富田館長、波多野館長、齋藤館長、水野館長、芦田館長、坪井館長、丹羽係長、松浦
欠席者	運営委員	来治英治
傍聴人	無	
司会	永井課長	
1 こども未来部長あいさつ	<p>本日はご多忙にもかかわらず、第1回小牧市児童館運営委員会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、皆様方には本市の教育・福祉行政の推進に日頃より格別のご支援・ご協力をいただき、改めて厚くお礼を申し上げます。</p> <p>さて、本市では、平成28年4月に、地域全体で子育てや子育てを支え合うまちを実現するため、小牧市地域こども子育て条例が施行されました。本条例では、こどもの権利を尊重することも含めて、こども及びこどもが育つ家庭を支援し、応援することについての基本的な考え方を定めるとともに、保護者、地域住民、事業者、学校等及び行政などがそれぞれの特性を活かしながら責務を果たし、互いに緊密な連携を図ることについて規定しています。</p> <p>条例制定を機に、これまで以上に、こども達が自らの未来に夢や希望をもって成長できるよう支援してまいります。その中で児童館事業が果たす役割は大きいものと思います。</p> <p>本日は、児童館の役割と今後のあり方について、委員の皆様には忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>	
2 自己紹介	運営委員、事務局の順に自己紹介。	
司会	<p>議事に入る前に会議の定足数に関して報告します。小牧市児童館の管理に関する規則第14条第2項で過半数5名の出席が必要とされていますが、本日は9名の委員が出席しており、会議は成立しています。</p>	
3 委員長、副委員長選出 司会	<p>次に、委員長と副委員長の選出に入ります。委員の任期が満了となり、新たに委員に就任していただいたため、委員長と副委員長が不在となっております。規則第13条第1項において「委員会に委員長及び副委員長1人をおき、委員の互選によってこれを定める。」とあります。どなたかご意見はございますか。</p>	

竹谷委員	<p>永井委員に委員長を、丹羽委員に副委員長をお願いしたいと思います。永井委員は小牧市内の学校で校長を務められ、丹羽委員は市立保育園の園長を務めてみえました。小牧市の児童の状況をよくご存知でありますので適任であります。いかがでしょうか。</p>
司会	<p>ただいま竹谷委員から、永井委員を委員長に、丹羽委員を副委員長に、のご推薦をいただきました。いかがでしょうか。</p>
	<p>(拍手賛成)</p>
	<p>ありがとうございました。それでは、皆様のご賛同をいただきましたので、永井委員に委員長を、丹羽委員に副委員長をお願いしたいと思います。</p>
	<p>それでは、委員長、副委員長から一言ごあいさつをいただきたいと思います。</p>
委員長	<p>小牧市は8つの児童館がありますが、大変恵まれた環境であると感じておりますし、その果たす役割は大きいものがあると思えます。0歳から18歳まで、あるいはそれ以上の年齢の方の利用もあり、それぞれ対応していただいていると伺っております。本日は、いろいろな立場の方がご参加されているかと思えますが、忌憚のないご意見をいただきたいと思えますので、よろしくお願い致します。</p>
副委員長	<p>小牧市は、地域に根ざした児童館、あるいは児童センターがあります。また、今年の4月から、小牧市地域こども子育て条例が施行され、まさに地域と手を取りあって、小牧の宝を大切にしながら、育てていきたいと思えます。微力ながら委員長を補佐して務めてまいりたいと思えますので、よろしくお願い致します。</p>
司会	<p>それでは、議題に入ります。ここからの委員会の進行につきましては、規則第13条第2項で「委員長は、委員会を代表し、会務を総理し、会議の議長となる。」ことが規定されていますので、永井委員長よろしくお願ひします。</p>
委員長	<p>それでは、議事に入ります。(1)平成27年度児童館実績報告について、事務局の説明をお願いします。</p>
児童センター長	<p>平成27年度児童館利用実績報告について(資料1により説明) 各児童館には、0歳から3歳までの乳幼児親子がゆったりと過ごす子育て支援室がありますが、どの児童館も増加傾向にあります。利用者の低年齢化・低月齢化がみられます。幼児・大人や小中高生の利用者数も増加しています。</p>

今後も多くの方に利用して頂けるよう、各館工夫をしながら、児童館運営を進めていきたいと思ひます。

平成27年度児童館行事活動報告について（資料2-1により説明）

児童センターは「遊びを通して友達との和を広げる」という目標で行事の計画をたてています。子どもたちや保護者が楽しんでいただけることを第一に考え、行事を企画しています。季節的な行事、伝統的な行事、児童センター独自のイベントなど職員で意見を出し、昨年度の反省を生かしながら、行事の計画をしています。0歳から18歳までの方の利用、乳幼児については必ず付き添いの大人の利用があり、そして家族の利用がある、幅広い年齢の利用がありますので、それに伴い、それぞれの利用者のニーズを考慮しながら、気軽に楽しめる、親しみやすい児童館を心がけながら、運営をしてまいりたいと思ひます。

味岡児童館長

（資料2-2により説明）

味岡児童館では、「地域ぐるみでの運営」「多世代での子育て支援」「中高生の居場所」「多文化共生」「社会教育の展開」という5つの理念を基に運営をしています。味岡児童館の特徴であります、地域ぐるみでの運営として、たくさんのサポーターに支えられながら、サマーフェスティバルなどのイベントを行うことができました。子育て支援室につきましては、母親同士のつながりだけでなく、父親とこどものふれ合いを目的として、父と子のベビーマッサージ教室を開催し、好評でした。中高生の居場所としての児童館として、学習室等の利用も多いですが、サポーターとして日々の行事の企画・運営に携わっている中高生もいます。また、多文化共生事業として、英語講座も好評です。これからも地域との強いつながりを持ちながら、日々の運営に携わっていききたいと思ひます。

篠岡児童館長

（資料2-3により説明）

篠岡児童館は、「地域ぐるみでの運営」「多世代での子育て支援」「中高生の居場所」「多文化共生」「社会教育の展開」という5つの理念で運営しています。地域とともに育ちあう児童館、特に地域とのつながりを大切にし、区長、小中学校等つながりを大切にしながら、館の運営を行っています。篠岡児童館の特に大きな3つの行事、児童館まつり（5月）、きもだめし（8月）、もちつき（2月）では、篠岡中学校の生徒さんや地域のボランティアなど、たくさんの地域の方々に助けていただきました。また、月1回行っていますコンサートにも地域の方々のご協力があります。外国籍の方の居住の多い地域ですので、アフリカ音楽祭など、多文化共生を意識した取組みも積極的に行っています。

小牧児童館長

（資料2-4により説明）

小牧児童館は、幅広い年齢の方に楽しんでいただけるように、季節感や伝統行事を大切にしながら行事の企画・運営を行っています。また、地域の力を借りながらこどもがイベントの企画・運営に参加する「こどもプランナー」や、昨年からはじめました本のリユースも好評です。小・中学校、保育園、主任児童委員・区長など、地域の関係者との情報交換を行う「地域交流会」を始め、地区と合同の防災訓練の実施、また地区のまつりへの参加など、積極的に地域との交流を図り、地域と関わりをもちながら、児童館運営を行っていきたくて考えています。これからはいろいろなことに取り組んでいきたくて考えています。

小牧南児童館長

(資料2-5により説明)

小牧南児童館では、「ぬくもりのある児童館」を目標に、運営を行っています。平成27年度の児童館での利用者数をみますと、幼児・小学生・大人で9割の利用、残り1割が中高生の利用となっております。しかしながら、当館は、コミュニティセンターとの複合施設でありますので、コミュニティセンターのサロンなどで多くの中高生が勉強をしている姿を見かけますので、実際は中高生の利用はもっと多く、多世代に利用されている施設であると考えております。複合施設としての特色を生かし、イベントなどは、コミュニティセンターと共催し、「地域運営協議会」を中心に、地域の方の力も借りながら、行っています。「こどもプランナー」などこどもたちの育成も大切にしながら、地域との連携を大切に館の運営を行っていきたくて思います。

北里児童館長

(資料2-6により説明)

北里児童館では、「あそびを通しての仲間づくり、地域とのつながり」を目標に、特に異年齢との関わりを意識して、行事を企画しています。「新1年生歓迎会」では、高学年の子が、児童館での決まり等紹介しながら、児童館での遊び・楽しみなどを披露しています。また、夏まつりでは、高校生ボランティアや母親クラブのお手伝いもあり、0歳から18歳までの多世代の参加がありました。地区の保健連絡員の方に、児童館を紹介してもらい、来館される方が増えています。その一方で、まだ児童館を知らないが、しかし支援を待っている方にどう広報したらよいか、永遠のテーマではありますが、模索しながら、多くの方に利用してもらえよう、取り組んでいきたくて思います。

西部児童館長

(資料2-7により説明)

西部児童館は、併設しているコミュニティセンターとともに昨年度開館10周年を迎えることができました。重点目標としまして、来館者に笑顔になってもらえる運営を心がけています。その取組みとして、昨年度は、イベント・行事以外に、壁面・レイアウトなどの変更を行い、雰囲気作りを大切に

	<p>しました。また、子育て支援室の利用も増加しているため、0歳から3歳までの乳幼児を対象とした行事にも力をいれました。また、敷地内の畑で収穫した作物をクラフトで活用するなど、施設の資源を有効活用しています。児童館単体の行事だけでなく、コミュニティセンターと共催で「地域運営協議会」と共に行事を行うなど、地域との連携を意識した児童館運営も行っています。毎日、ブログで児童館の情報を発信し、多くの利用者の方に西部児童館を知っていただき、楽しんでいただけるように、取り組んでいきたいと思えます。</p>
大城児童館長	<p>(資料2-8により説明)</p> <p>大城児童館は、「楽しさのシェアリング」を目標に、「地域ぐるみでの運営」「多世代での子育て支援」「中高生の居場所」「多文化共生」「社会教育の展開」という5つの理念で運営しています。ホスピタリティの向上を目標として、行政側の職員研修、独自の研修などにも積極的に参加しています。こどもが減っている桃花台地区ですが、子育て世帯を中心に土日は家族の利用が多く、家族・親子の利用が多いです。また、祖父母の利用も多く、多世代での子育てを支援するため、曜日や時間などに配慮し、それぞれのニーズに合わせた講座の運営を心がけています。外国籍の多い地区ですので、多文化共生を意識したインターナショナルあそびや、館の特色である地域や学校とのつながりを大切にしながら、これからも5つの理念に基づいた児童館運営を行っていききたいと思います。</p>
委員長	<p>改めて、いろいろな活動をされていることが分かりましたが、これからは委員の皆さんに意見などをいただきたいと思えます。</p>
竹谷委員	<p>各年齢層のニーズに応じた行事、また地域とのつながりを大切にしたい行事、いろいろと工夫しながら取り組んでいると思えます。これからも学校とともに地域の中心となって活動していただけるといいなと思えます。</p>
沖本委員	<p>核家族が多い現代社会の中で、児童館を通して様々な世代の方や地域の方々と触れ合う機会があることはよいことだと思えます。</p>
古澤委員	<p>篠岡児童館では、毎月のコンサートを行っているということでしたが、対象年齢はあるのでしょうか。</p>
篠岡児童館長	<p>対象年齢は絞っていません。地域のコミュニティの意味合いもあり、多世代で楽しめるものを企画しています。</p>
山下委員	<p>北里児童館の「新1年生歓迎会」で6年生の子が自分の得意な遊びを1年</p>

	<p>生の前で披露するという取組みがいいなと思いました。学校だと勉強で褒められることはあっても、なかなか遊びで褒められる機会はないと思うので、よいイベントですね。西部児童館が行っているブログについても、行った事のない人でも、児童館の中の様子が分かるのも、来館者の増加にもつながるし、よいことだと思います。私はよく小牧南児童館へ伺うのですが、季節ごとの飾り付けがしてあり、来館者の目を楽しませてくれています。</p>
辰川委員	<p>私は、西部コミュニティセンターへ行くことが多いですが、よく親子が楽しく遊んでいる姿を見かけ、ほほえましいのですが、一つお願いがあります。最近ヘルメットをかぶらずに遊びに行ってしまう、小学生が多いので、見かけたらでいいので、注意してもらえるとありがたいです。</p>
船橋委員	<p>子ども同士の学年を超えたつながりができる点がよいと思います。また、親子の支援、お父さんと子の支援に向けた取組みも意欲的に行っていただいています。これからも様々な支援、取組みを充実してほしいですね。</p>
宮内委員	<p>味岡児童館のサポーターや地域の方とお話していると、味岡児童館が地域のコミュニティの場所として機能していることを感じます。児童館へ来館してくれる方はよいが、なかなかいけない人を外に出してあげられるような取組みなども地域で協力してできるとよいなと思います。</p>
副委員長	<p>どの児童館も地域に根ざして、よく努力して運営を行っています。少しやんちゃな子など、日々いろいろな子が来館すると思いますが、温かく接して顔を合わせてがんばっていらっしゃいます。これからも地域のよりどころとしてがんばってほしいです。</p>
委員長	<p>少し問題のある子の来館も増えていると思いますが、児童館がそういった子の居場所になっています。少年センターでいろいろな相談に対応するカウンセラーの話を聞くと、問題のある子、社会にうまく適応できない子は、幼児期に親からのスキンシップが不足している、コミュニケーションがうまくとれていない場合が多いと聞きますので、児童館利用者の低年齢化は、実は10年後よい効果を生んでくれると思います。</p> <p>それでは、次の議事にうつります。</p> <p>(2) 平成28年度児童館運営委員会開催計画について、事務局の説明をお願いします。</p>
児童センター長	<p>(資料3により説明)</p> <p>今年度は本日を含め2回開催する予定です。</p> <p>今回は、来年2月に開催し、来年度の目標設定などを提案する予定です。</p>

委員長	何か、質問、ご意見等ありますか。
副委員長	「児童館のしおり」5ページ「父母クラブの活動」のなかで、児童事故防止のための活動・環境整備について、何か取組まれた事例などありましたら、教えてください。
児童センター長	交通安全に関する活動を行っていましたが、最近は働くお母さんも増え、忙しい方が多く、活動の幅が狭まっているのが現状です。
小牧児童館長	児童館の北側に第三保育園がありますので、混雑する送迎時には第三保育園と協力して交通安全活動を行っています。
委員長	昨年も申し上げましたが、毎年少年センターで行うアンケート（小学5年生、中学2年生、高校1年生対象）で、自分が住んでいる地域の満足度について90%を越えていました。地域の方々を招きいれて、子どもだけでなく、大人も地域活動、青少年健全育成、ボランティアとして関わってくれている方も多く、児童館の果たす役割は大きいと思っています。児童館で5年以上ボランティア活動をされている方が60名ほどいると聞いています。特に、大城児童館では40名以上が活動されていますし、味岡児童館も多いと聞きます。地域の方たちとともに子どもたちを支えていただいています。
大城児童館長	年中、行事がありますので、同じ人ばかりでなく、いろいろな団体の方に協力していただいています。団体の方たちが楽しみにしてくださっていることも多く、その方たちにスポットがあたるようなイベントを心がけています。また、世代が変わってきて、最初関わったときが幼稚園の保護者だった方が、小学校PTA、中学校の保護者として関わったり、また高校生で関わった方が今度は社会人となり児童館の職員として関わることになるなど、よい循環ができているとも感じます。本当に地域の方々に支えられていると感じます。
味岡児童館長	新児童館建設の前から関わってくれている方たちが多いため、思いが強い方が多く、地域とのつながりが強く、固いです。また、大人の方だけでなく、中学生・高校生など若い世代とのつながりもあります。これからも地域の方のお力をお借りしながら、運営をしていきたいと思っています。
児童センター長	少しだけ、「児童館のしおり」について、説明をさせていただきます。特に大きな変更はありませんが、2ページの「休館日」について、警報がでている場合やインフルエンザ等感染症患者の児童館の利用についての記載を加えました。それから、4ページ、各館の「乳幼児子育て支援に関する教室」に

委員長	<p>ついて、若干曜日の変更を行いました。</p> <p>ご意見等はありませんか。 (意見なし)</p> <p>特にご意見もないようですので、事務局から何かありましたら、よろしく お願いします。</p>
司会	<p>本日は、貴重なご意見をいただきありがとうございました。</p> <p>これもちまして、平成28年度第1回児童館運営委員会を閉会します。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>